

2022年6月12日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第65巻第9号(通算3291号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての^{ひと}人と共に^{とも}におられる
ことを証しして^{あかし}いく^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

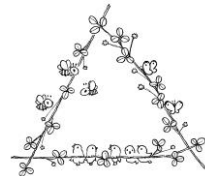
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)



はな ひ ひれいはい 花の日こどもの日礼拝 ^{きょうかい} ^{そうりつき} ^{ねんれいはい} 教会創立記念礼拝



^{れいはい}《礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
^{しちやう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

^{ぜん} ^{そう} ^{もくとう}前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね} ^{ことば} ^{しんめいき}招きの詞 申命記 ^{しょう} ^{せつ} 6章 4-5節

^{さんびか} ^う ^{たから}賛美歌 「埋もれた宝」

^{せいしよ} ^{しんと} ^{てがみ}聖書 ローマの信徒への手紙 ^{しょう} ^{せつ} 8章 1-17節

^{いの}お祈り

^{さんびか} ^{かいていばん} ^{ばん}賛美歌『こどもさんびか改訂版』96番「せいれいよ、きてください」(©P.D.)

^{いのち} ^{へいわ} ^{もと}メッセージ 「命と平和を求めて」 ^{うしだ} ^{ただし} ^{ぼくし}牛田 匡 牧師

^{さんびか} ^{かいていばん} ^{ばん}賛美歌『こどもさんびか改訂版』34番「キリストのへいわ」(©塩田 泉)

^{しゅ} ^{いの} ^{ばん} ^{てん} ^{わたし} ^{ちち} ^{きょうだん} ^{さんびか} ^{かいていばん} ^{いんかい}主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの}献げ物 (*)

^は ^{けん} ^{ばん} ^{かみ} ^{めぐ} ^う ^{せつ}派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゅく} ^{ふく}祝福 ^{うしだ} ^{ただし} ^{ぼくし}牛田 匡 牧師

^{こう} ^{そう} ^{ばん}後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

^{ほう} ^{こく} ^{ページ} ^{さんしょう}報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

^{うけつけ} ^{けんきんばこ} ^{ようい} ^{かた} ^{さき}受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 申命記 6章 4-5節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁴聞け、イスラエルよ。私たちの神、主は唯一の主である。

⁵心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くしてあなたの神、主を愛しなさい。

聖書 ローマの信徒への手紙 8章 1-17 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹従って、今や、キリスト・イエスにある者は罪に定められることはありません。

²キリスト・イエスにある命の霊の^a法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。³律法が肉により弱くなっていたためになしえなかったことを、神はしてくださいました。つまり、神は御子^{みこ}を、罪のために、罪深い肉と同じ姿で世に遣わし、肉において罪を処罰されたのです。⁴それは、肉ではなく霊に従って歩む私たちの内に、律法の要求が満たされるためです。⁵肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思います。⁶肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和です。⁷なぜなら、肉の思いは神に敵対し、神の律法に従わないからです。従いえないのです。⁸肉の内にある者は、神に喜ばれることができません。

⁹しかし、神の霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉の内ではなく、霊の内にあります。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。¹⁰キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、霊は義によって命となっています。¹¹イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬべき体をも生かしてくださるでしょう。

¹²それで、きょうだいたち、私たちは、肉に従って生きるという義務を、肉に対して負ってはいません。¹³肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬほかはありません。しかし、霊によって体の行いを殺すなら、あなたがたは生きます。¹⁴神の霊に導かれる者は、誰でも神の子なのです。¹⁵あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、^b子としてくださる霊を受けたのです。この霊によって私たちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。¹⁶この霊こそが、私たちが神の子どもであることを、私たちの霊と一緒に証ししてくださいませ。¹⁷子どもであれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共に栄光をも受けるからです。

(脚注 a: 直訳「律法」、b: 直訳「養子」)



《先週のメッセージより》2022年6月15日聖霊降臨日（ペンテコステ）礼拝
「I will be back」

岡嶋千宙伝道師

聖書 ヨハネによる福音書 14章15-18, 25-27節

「最後の晩餐」の席において、弟子の一人による裏切りを含めて、これから起こることを伝える中で、イエスは「弁護者／真理の霊が弟子たちと共にあり続ける」と語りました。13章から17章まで続くイエスの語り／祈りの言葉を踏まえると、ここで語られる「聖霊」とは、弟子たちが、そして弟子たちを通してイエスを信じることになる後の世代の信仰者たちが、「一つとなる」関係、各々が「内にある」関係の中に生きることが可能にする存在として考えることができます。聖霊の働きを通して、一人ひとりが内面を含めた全人格的な交わりの中に、それぞれに特色を持ったままで、共に生きることができるようになるのです。

それは、将来への約束として語られるだけではありません。17節「あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたのもとにいる」。18節「わたしはあなたがたのところに戻って来る」。27節「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える」。過去でも、将来でもなく、現在のこととして語られる聖霊の動き／働き。イエスは、聖霊の働きを、今まさしく起こっていること、このときに与えられていることとして語るのです。さらに、この聖霊の働きにおいては、誰一人排除されることはありません。一人ひとりのそばに、特に、この世での歩みにおいて、苦しみや悲しみの中にある人、困難に直面している人、声を消されている人、弱い立場に追いやられた人、そんな人たちのそばに、弁護者たる聖霊がいて、イエスを思い起こし、関係を築いてくれるのです。

わたしは、イエスをキリストとして信じる者たちの集まりである教会は、そのような関係を一人ひとりが持つことができる場なのだと信じています。そうであるようにと、イエスの思いが込められた大切なコミュニティなのだと信じています。教会は、人々の間に出向いていく必要があるのでしょうか。そして、人々に、今ある関係に疲れ果て、絶望している人たちに、弁護者たる聖霊が伝えるイエスのメッセージを、語っていく必要があるのでしょうか。イエスは、わたしたちのもとに、わたしたちのそばに、わたしたちの内に、戻ってきています。そのイエスが語る福音のメッセージを、隣人に伝えに参りましょう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 6月5日 聖霊降臨日（ペンテコステ）礼拝

主日礼拝出席 大人 5名 中継動画再生数 15回
 献金 大人 5,000円

感謝



◎次週 2022年6月19日（日）聖霊降臨節第3主日礼拝

招きの詞 詩編 43編 3-4節
 聖書 列王記 上 19章 8-15節
 メッセージ「ここで何をしているのか」岡嶋千宙伝道師（向島伝道所）
 賛美歌 171番（©あかし書房）、497番（©JASRAC）、420番（©JASRAC）
 礼拝はインターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・明日13日（月）13時～15時に、久宝教会を会場にして、河内地区有志教会牧師会が開催されます。
- ・6月26日（日）13時半～、河内地区有志教会婦人会が、ZOOMを利用したオンラインの集まりとして開催されます。地区6教会の現状をお互いに聞か合います。「おにぎり支援」の後、教会を会場にして参加して頂くことが可能です。どなたでもご参加ください。
- ・明日13日（月）19時～20時半に「日本におけるマイノリティ人権白書（ライブ版）」が開催されます（主催：マイノリティ宣教センター）。テーマは「日本における女性差別」で、登壇者は渡邊さゆり共同主事です。会場は東京にあるマイノリティ宣教センターですが、インターネットを利用したZOOMによるオンライン参加も可能です。ZOOMでの参加をご希望される方は、右のQRコードもしくは、

下記のURLより事前にお申し込みください。

<https://onl.bz/gyBBA2z>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/19	岡嶋伝道師	
6/26	牛田牧師	おにぎり支援・河内地区婦人会(ZOOM)
7/3	岡嶋伝道師	ユーカリスト?・教会を考える会?
7/10	牛田牧師	部落解放祈りの日

ライブ版 日本におけるマイノリティ人権白書

「日本におけるマイノリティ人権白書2021」執筆者が、ライブトーク
マイノリティ宣教センター 共同主事が、登場します。

●2022年5月30日（月）
午後7時～8時半

テーマ 移住労働者
～宣教の取り組みとこれから～

話 デイビット マッキントッシュ 共同主事

●2022年6月13日（月）
午後7時～8時半

テーマ 日本における女性差別
話 渡邊さゆり 共同主事

会場：マイノリティ宣教センター 日本キリスト教会館5階52号（先着10人）
オンライン参加(ZOOM)も受け付けています。いずれも前日までに申し込みください。

2019年11月に刊行された「第3回マイノリティ国際会議」において、在日コリアンに対するヘイトスピーチ、日本における人種差別の現状が報告されました。その後、日本において差別の予防を目的としてNGO等を連携推進して来られ、2017年「マイノリティ宣教センター」は設立されました。この5年の間に、日本社会においてヘイトスピーチは増加し、差別の横たは見えにくいところまで伸びています。

マイノリティ宣教センターは、夏延るぶとい差別が無く精神性を保ち、それぞれがなりたい生き方と関わり、豊かさを求めたいと訴えかけています。2021年夏に発行した「日本におけるマイノリティ人権白書2021年」を執筆した一人ひとりが経験した「出来事」を、書き合ってきたこと、話し合ってきた思いを、さまざまな形で発表するライブです。「情報公開」ではなく人との出会われがちなことを期待しています。22年初夏は、共同主事二人が、担当します。

マイノリティ宣教センターの活動は、賛同者の参加、協力、献金で行っています。
 ◎年費別賛同者として、マイノリティ宣教センターをお支えください。
 ●個人賛同金 年間 1日 3,000円～
 ●ゆづり支援口座 00160-6-487170 マイノリティ宣教
 ●ゆづり支援 早稲田支店普通 2382724名義 マイノリティ宣教センター

●新型コロナウイルス感染拡大状況により、会場参加をオンラインに切り替えさせていただきます。前日までには連絡いたします。
 ●お申し込みには、毎日 zoom には24時間メールで対応いたします。
 info@cmim.jpからのメールを受信できるメールアドレスを記載の上、お申し込みください。
 ●お申し込みは、info@cmim.jp でも受け付けています。

お申し込み
こちらのフォームから⇒
<https://onl.bz/gyBBA2z>

主催 マイノリティ宣教センター
info@cmim.jp
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 5 2号室